

## § 2.コミュニティ・ゾーン整備の基本方針

### 1) 基本方針

本地区コミュニティ・ゾーン整備における基本方針を以下のとおり設定します。

- ①現状の道路空間の中で、歩行者が【安全】に通行できる空間を整備
- ②効率的・効果的な交通安全対策の実施により、誰もが【安心】して利用できる空間を整備
- ③交通安全対策の実施により、歩くことが【楽】となる空間を整備

①本地区は、古くから形成されている木造住宅が密集する地域を含む住宅市街地で、狭い道路が多く、幅員6m未満の道路が全体の86%を占めています。また、ほとんどの道路が歩車非分離となっており、安全な歩行空間の確保が求められています。歩道を設置して歩車分離することで、歩行者等の安心・安全性の向上を図られますが、現況の道路幅員では歩道設置は困難な状況です。

そこで、本地区での整備については、現状の道路空間の中で歩行空間の拡充・明確化などの実施により、歩行者が【安全】に通行できる空間の整備を基本方針とします。



②本地区の道路は、カーブミラーの設置、路側帯カラー舗装化等による歩行空間形成、交差点カラー舗装化等による注意喚起など、ほとんどの道路で交通安全対策が実施されているものの、対策済の箇所でも危険性が指摘されています。

そこで、本地区での整備については、既往の交通安全対策を活用しつつ、さまざまな交通安全対策を組み合わせることにより、誰もが【安心】して利用できる空間の整備を基本方針とします。



③本地区は、地域が主体となって取り組む大きなイベントとして、根津神社を会場にして開催される「つつじまつり」や「根津・千駄木下町まつり」など、多くの観光客で賑わう点も特徴であり、また日医大病院をはじめとする厚生医療施設も集積しており、これら来訪者や通院利用者への配慮も必要となります。

そこで、本地区での整備は、バリアフリー化や景観にも配慮し、交通安全対策の実施で歩くことが【楽(らく)・たのしい】となる空間の整備を基本方針とします。



つつじの名所でもある根津神社祭事の際には多くの観光客が訪れる

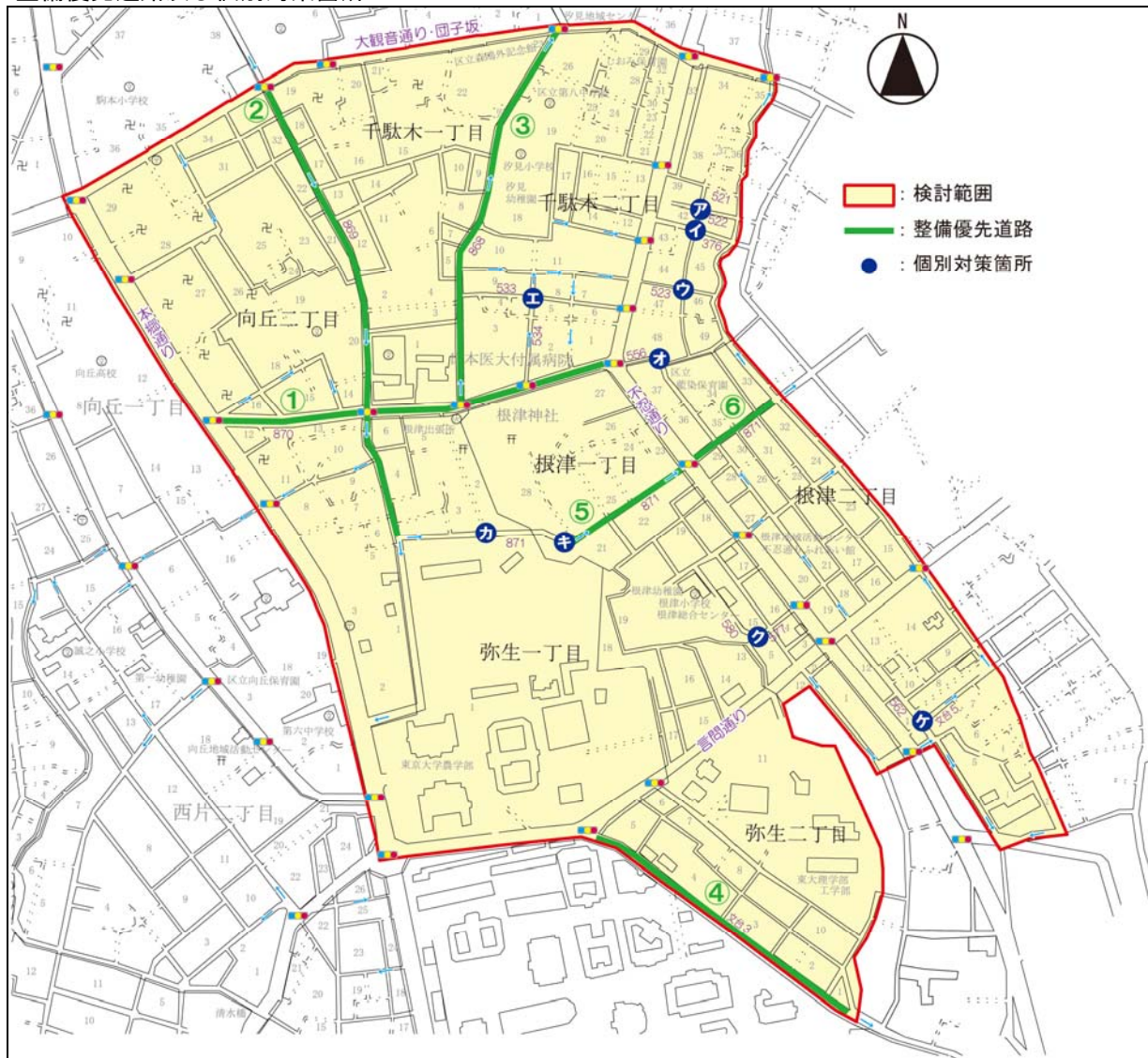
下町まつりの会場にもなる藍染大通り 休日の昼間は歩行用道路にもなる

ハンプは、自動車速度抑制とともに車いすでの移動も円滑にする

## 2) 整備優先道路及び個別対策箇所の設定

「事故発生件数」「ヒヤリ・ハット指摘数」「観光客利用ルート」「協議会での指摘」を踏まえ、本地区コミュニティ・ゾーン整備での整備優先道路及び個別対策箇所を以下のとおり設定します。

### ■ 整備優先道路及び個別対策箇所



整備優先道路 (6路線)	①区道 870 号(日医大前)	④文台 3 号(暗闇坂)
	②区道 869 号(駒込学園前~日医大)	⑤区道 871 号(S坂下~不忍通り)
	③区道 868 号(藪下通り)	⑥区道 871 号(藍染大通り)
個別対策箇所 (9箇所)	ア:区道 522 号 × 私道	カ:区道 871 号 × 私道
	イ:区道 376 号 × 私道	キ:区道 871 号(S坂下)
	ウ:区道 523 号 × 私道	ク:区道 580 号 × 区道 577 号
	エ:区道 534 号 × 区道 533 号	ケ:区道 562 号 × 文台 5 号
	オ:区道 556 号 × 私道	